

緑の屋根の時計台



第 29 号 平成 20 年 7 月 20 日発行 編集責任者 江尻倫昭

漢方薬のはなし

最近、漢方治療が多くの病院で取り入れられていきます。今回は漢方薬を紹介します。

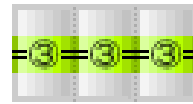
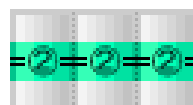
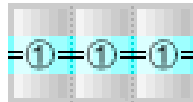
一 漢方薬はいくつもの生薬を組み合わせで作られる薬です。漢方薬は、数千年の年月をかけて、患者さんの症状に合った生薬の組み合わせ（処方）を生み出しました。それをもとに、日本の現状に合わせて発展させてきたのが、漢方薬です。小さくきざんだ生薬を煎じてのむ、伝統的な煎剤もあります。が、今、わが国で広く使われているのは、煎じ薬を乾燥させてアルミパックに入れ、持ちやすく、また飲みやすくしたエキス剤（医療用漢方製剤）です。



二 漢方薬の基本的な考え方は、人がもっている病気を治す力（自然治癒力）を高めることです。

よく「漢方」イコール「漢方薬」と思っている方がいますが、漢方薬は漢方医学という東洋医学の一部で、他に針灸、養

生、按摩、気功・太極拳なども、漢方医学の治療法です。これらはみな、誰もがもともと持っている、病気と闘い、治す力を高め、からだを整えることを基本にしています。

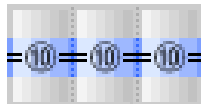
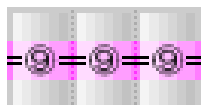
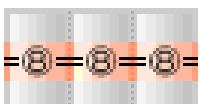
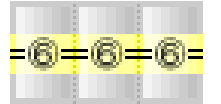
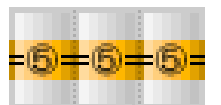
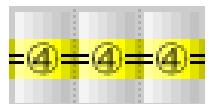


三 漢方薬は、一人ひとりの個人差を重視して、使い分けています。

そのため漢方は、病名で診断することだけでなく、患者さん一人ひとりの体質や病気の状態を見きわめながら、最適な漢方薬を使い分けていく、いわゆる「オーダーメイド」の治療だといえるでしょう。ですから、同じ病気でも患者さんの状態によってのむ薬が違ったり（同病異治）、ひとつの薬がいろいろな病気に応用される（異病同治）こともあります。

四 民間薬は、生活の知恵で伝えられてきた薬です。

「民間薬」とは、ゲンノショウコがお腹にいいとか、ドクダミが肌にいいなどと、身近な植物をある症状に使ってきたもので、普通は一種類の植物だけを使います。昔からの経験を言い伝えた、いわば生活の知恵で、医師が処方薬として用いることはありません。また、最近ブームになっているハーブも、ヨーロッパなどの生活に古くから根づいている民間薬で、料理や健康増進のために利用されています。これに対して漢方薬は、数千年にわたり効き目や安全性に関する長い経験に基づいて、特有の理論体系を築き上げて、その理論と患者さんの症状に応じて、いくつもの生薬を組み合わせるというようになっています。そのため、一つの漢方薬でさまざまな症状を治し、複合的な効果を期待することができます。



五 科学的な研究も進み、漢方薬を使う医師が増えていきます。さらに漢方薬は、西洋医学では対処しにくい半健康状態から慢性疾患にいたるまで、広い症状に対処できることが、多くの医師に認められるようになりました。このように、広く使われ、科学的な研究も進むようになってきて、漢方薬が今の医療にとって大切な薬であることが、西洋医学からも認められてきています。また 1976 年以降、医療用漢方製剤が健康保険で使えるようになり、より多くの患者さんが漢方薬で治療を受けることができるようになりました。最近では大学病院や総合病院でも漢方外来をもつける施設が増えてきています。



当院でも漢方薬を処方いたしますので、ご希望の方は、お気軽にお申し出ください。

つばめ便り



5月下旬に、つばめが自転車置き場の換気扇の上に巣を作り6月になって5羽が孵りました。チイチイと鳴いて餌をねだる可愛い様子を微笑ましく見て楽しんでおりました。

しかし、6月中旬一夜にして雛の姿が消えてしまいました。いったい何がおきたのか？親つばめはどうしたのだろうか？空っぽの巣だけ残され寂しい思いで過ごしておりました。



元気に餌をねだるあどけない雛たち



すっかり成長して巣立ちも近い雛たち

ところが、6月下旬、今度は玄関ポーチの柱の上に再度巣作りを始めたではありませんか。はたして卵を産んだのだろうか、卵は無事孵るのだろうか、いろいろ勝手に心配しつつ待っていました。

7月7日、親つばめの動きがおかしいぞ。巣の中で何か動いているような……。

7月10日、とうとう雛の黄色いくちばし発見！！

7月13日、4羽のくちばしを確認。鳴き声もはっきり聞こえます。成長しています。親つばめはせっせと餌を運んでいます。

つばめ達が元気に旅立つまで驚かさぬように見守っていましたが、とうとう巣立ちの時がやってきました。まだまだ頼りなく、不安そうに飛び立ってゆく子つばめたちは、それでも、すっかり親と同じ姿になっていました。皆様には、ポーチの下が糞で汚れているにもかかわらず、巣立ちまで見守っていただきありがとうございました。また来年、ここから巣立った雛が帰ってくることを祈りながら……。 恵子

休診のお知らせ

8月15日(金)、16日(土)

お盆休みで休診します。

8月30日(土)

研修会出席の為、午後は休診です。



おかげsummerで3周年

平成17年8月9日に当地で開業し、無事3年を迎えることとなりました。これからは地域の皆様が、安心と満足を得られるよう努力を続けてまいります。

今後とも皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

院長



江尻内科循環器科クリニック

飛騨市古川町上気多631-1

Tel 0577-74-0041 Fax 0577-74-0057

診療時間 (月~土)午前8:30~12:00 午後3:30~6:30

水曜午後休診、土曜午後は1:30~4:00

<http://www.ejiri-clinic.info>

